

〔 短 歌 。 俳 句 。 川 柳 〕

本誌編集室担当

短 歌

雪解けの川が増水濁りけり
春待つ我を喜ばせたり

●宮古市 太田屋滋

学校のお礼の会に招かれて

児童の言葉明日につながる

●戸田市 久米壽彦

賑やかな路地裏通る学童に

縦列の中春風そよぐ

●小金井市 飯田勝巳

桜散り緑さわやか街路樹に

花水木咲き主役が変り

●狛江市 根方一吉

百合園に花咲き揃う野に畑に

光まぶしき風に揺れをり

●平塚市 田中博由

朝ぼらけ甘き香りの紅梅に

引き寄せられる我腕なるや

●福知山市 岬尾 充

俳 句

空っぽの頭に香る桜かな

●鹿沼市 大貫秀雄

花見とて吹雪の舞もなお風流

●小山市 塚野 京

春うららフルート吹く娘の銀の爪

●小山市 原田利江

風呼んで風を払ひて糸桜

●本庄市 長谷川千鶴子

菜の花の間を川は流れけり

●草加市 長谷部禎子

ささらめく助走で越ゆる蜷の道

●戸田市 篠崎志津子

箱庭に三密してるオドリコ草

●朝霞市 林 則雄

世を憂い千羽じゃ足りぬ鶴を折る

●埼玉県嵐山町 大澤良江

会員の垣根剪定ひとめぼれ

●東京都葛飾区 東海洋一

受験朝そつと背中に二字を書く

●武蔵村山市 原野晴光

見晴るかす越後三山別れ雪

●長岡市 近藤 博

寒戻り鯉は再び池の底

●塩尻市 大家協治

湧水のわさび田満たし川走り

●塩尻市 奥原光夫

春をまつ黄色の蕾あまたあり

●塩尻市 小野正平

陽の匂い風の匂いか春の湖

●塩尻市 町田まさ子

木蓮の蕾の雫や春の雨

●可児市 井戸和秋

水微温む拡がる波紋止まる鋤

●野洲市 若松能夫